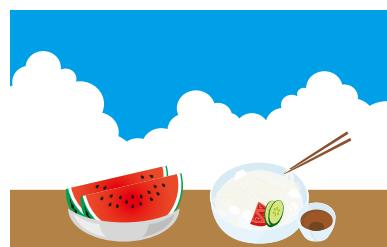


# おおふなと 社協だより

2017年8月号

ふれあいネットワーク



## 今月の表紙

し だりゅうじ  
**志田龍士さん・あゆみさん**  
ゆきね りょうが ふうま  
**雪音ちゃん・涼雅くん・楓真くん**  
(7才) (6才) (2才)



【特集】Y-Sセンター開館25周年	2~3
第34回大船渡市社会福祉大会	4
住民支えあいマップ作り	4
新しい出会い応援します！	5
「永寿の会」	5
お知らせ	6~7
輝き人	8



## 福祉の里構想から25年

大船渡市Y・S（ユース&シリバー）センターは、平成4年に大船渡市と岩手県の福祉の里構想に基づき建設されました。

福祉の里構想は、到來する長寿社会が豊かで生きがいに満ち、誰もが健康で暮らすことができる社会を作っていくために、健康づくりの機会や生きがい創造の場、また、世代間相互の理解を深める交流の場を提供しようとするもので

す。

福祉の里内には宿泊やスポーツ施設のほか、児童、高齢者、障害者等が入所（通所）する社会福祉施設が密集しています。

特にY・Sセンターは若い世代から高齢者まで、すべての市民を対象とした総合的な健康づくり事業を行なう中心施設として開設されました。センター内には温水プールはじめ、トレーニングルーム、浴室のほか伝承室などの設備があり、多くの方々に利用されています。

また、陶芸窯を設置し、愛好家による作品づくりや油絵サークルの活動拠点など、文化伝承施設としても利用されています。

開設翌年には10万人を突破、平成25年には100万人を達成しました。

## 時代の変化に即応

25年の間には、利用者の声に合わせた改築等も行いながらY・Sセンターを運営してきました。当

初2階に設置されていた遊戯室を1階に移動し、平成19年からは、「つどいの広場」として生まれ変わり、たくさんの親子が交流する場として現在も利用されています。

また、平成14年には駐車場の増設や送迎車の運行本数増便等利用者の利便性向上にも努めています。

その他にも、初めて利用する方が安心して利用できるよう水泳教室や陶芸教室、筋力トレーニング教室などを開催し、子どもから高齢者までステージに合わせた健康づくりの場を提供しています。

教室を修了された方々はサークルに入したり、自主的にグループ活動を楽しんだりと、仲間づくりの場にもなっています。

震災以降、たくさんの方に利用され、混雑する時間帯もありますが、今後も皆様に気持ちよく使っていただける施設を目指し運営していくたいと思います。

# Y・S利用者のつながりが広がっています！

トレーニングルームをよく利用する佐々木さん（36歳立根町在住）と、知人で初めて利用する白石佳織さん（22歳末崎町在住）の2人に話を聞きました。

佐々木さんはY・Sセンターが完成した時は小学校高学年。市内初の温水プールということもあってよく利用していました。現在は山登りを趣味としており、体力づくりを考えていたところ、職場の知人からY・Sセントラーやトレーニングルームを勧められ、よく利用するようになつたそうです。「Y・Sセンターは、とても料金が安く、機材も豊富。さらに時間制限がないので自分のペースで運動できることが魅力です。水曜日と金曜日に開催している筋力トレーニング指導に参加してみたら、思っていた以上に本格的で、

たくさん的人に参加してほしいと思い白石さんに紹介しました」と話してくれました。

白石さんは、これまでピルを利用したことはあつても、トレーニングルームがあることは知らなかつたそうです。また、佐々木さん同様に登山を趣味としており、久しぶりに五葉山に登つて自分が体力不足を痛感していたところでした。タイミングよく佐々木さんに紹介され、トレーニング後の感想を聞いてみると「機器の使い方や運動方法について先生が丁寧に教えてくれたので、楽しく運動することができ、あつた。これからも継続して体を動かし、いつかは佐々木さんと富士山に登りたい」と笑顔で話してくれました。

## トレーニングルームのココがおすすめ!!



### ・利用料金が安い！

(一般300円で時間制限なし、使用後はシャワーも使える)

### ・無料で筋トレ指導が受けられる！

(水・金曜日午後1時30分～3時30分)

### ・機器が豊富（12種類）

### ・定期的に筋力が測定できる（年4回）



## こんな使い方もあります！

### ●Aさん家族の場合

（父、母、子）



父、母

→トレーニング  
(300円×2人  
=600円)



子→児童水泳教室

（土曜日午前）  
(小学生200円)



### ●Bさん家族の場合

（祖父、祖母、孫）



祖父→入浴

（65歳以上100円）



祖母、孫

→つどいの広場  
(無料)



「誰もが安心して幸せに生活できるまち」を目指して

## 第34回大船渡市社会福祉大会



社会福祉推進校活動発表の様子。

7月22日、三陸公民館において社会福祉大会を開催し、多年にわたり社会福祉の発展に尽力された方々や福祉標語コンクールに入賞された方々を表彰しました。

また、社会福祉推進校である大船渡市立末崎中学校、綾里中学校、吉浜中学校の3校による活動発表が行われ、漁業体験や伝承活動など生徒だけではなく地域一体となつて福祉活動に取り組んでいます。

り組む必要性を確認しました。今大会における受賞者は次の方々です。（順不同・敬称略）

### ○表彰受賞者

（社会福祉事業功労）宮澤信平、柏貴美、休石昭一、佐々木賢士、内出幸美、金野待男、新沼茂一、船田昭子、富岡勇夫、熊谷典子、川原重巳、菅野ノブ子、安田強、小松順子、吉野サキ子、熊谷マサ子、菊地美代子、木川田敏子、西條直美、白澤小百合、澤田倫子、及川由佳

（ボランティア活動功労）村上トメ子、阿部光子、小森節子、及川純、白水純子、今野美保子

### ○感謝状受賞者

中村清喜、佐々木研、茶道裏千家淡交会岩手南支部

### ○福祉標語コンクール表彰者

（小学生の部）  
佐々木春翔、崎山和樹、佐々木風果、新沼遼佳、熊谷匡悟、佐藤蒼一郎  
（中学生の部）  
菅生果琳、佐藤空美、後藤陽菜



会話に花が咲き、地域への気づきと共感の連続です。

みなさんは、自分が住んでいる地域のことをどれくらい知っているでしょうか。災害時の避難場所はどこなのか、どこに支援を必要としている人が住んでいるのか、その人を取り巻く人間関係はどうなっているのか。住民支えあいマップは、井戸端会議のような感覚で住民のふれあいや助け合いの実態を地図上に書き出すことで、地域の取り組み課題を浮かび上がらせ、その解決方法を探るというものです。

普段、自分たちが住んでいる

地域であっても話していくなかで新たに気づくこともあつた

り、日頃生活しているなかで自分が困っていることをほかの参加者と共感しあつたり熱心に話合わっていました。

また、「婦人会が解散してしまったから今回集まつたメンバーでまた集まつてお茶飲み会ができるらしいね」とサロン立ち上げに向けた具体的な話も出され、さつく新たな活動の一歩が踏み出されました。

住民支えあいマップづくり  
～地域の今を知り、これからにつなげる～



吉浜地区助けあい協議会（伊藤信也会長）では、吉浜地区内各所で住民支えあいマップの作成に取り組み、今回は、吉浜千歳地区を対象に民生児童委員や自治会長、地域住民5名で作成しました。「移動手段が少ないし、道幅が狭くて大変なんだ」「歳を重ねてくればくるほど、人と人の繋がりが何より大事になつてくれる感じている」などが挙げられました。

吉浜地区助けあい協議会（伊

# 出会い支援事業 新しい出会い応援します！



カップルになった皆さんからのご結婚のご報告をお待ちしています。

社会福祉協議会では、結婚を希望する人たちの出会いを応援する出会い系支援事業を定期的に開催しており、今年度第1弾イベンント「浴衣de屋形船」を7月29日に開催しました。夏の風物詩である浴衣と甚平姿で、屋形船での特別な時間を共に過ごしました結果、4組のカップルが誕生しました。今回は、平成28年2月に開催したイベントで出会い結婚された、戸羽努さん、淳美さんご夫婦にお聞きしました！

## 答問

## 答問

## 答問

## 答問

## 答問

イベントはどうでしたか？

(夫) 男性は参加者が多く、ラバルが多いなと思いました。

入籍は、いつですか？

(夫) 妻の誕生日である6月30日に入籍しました。

結婚の決め手は？

(夫) どんなときも明るくて、楽しく暮らせそうだったので、

(妻) 家族や友人みんなに優しいところ。

プロポーズの言葉は？

(妻) 「あつちゃんがずっと笑顔でいられるように頑張るので、結婚してください」と言つてもらいました。

婚活中の方々へ一言

(夫) 出会いの場に行くのはちょっと恥ずかしいけれど、行つてみたらきっとことがありますので、気負わず参加してみてください。(妻) いつも笑顔でいることが一番の婚活になると思います。毎日楽しくいきましょう！



生きテク体操は毎月の楽しみ。心も体もリフレッシュ。

# みんなでやってみっぺし 「永寿の会」



「長寿」と「永沢地区」をサロン名の由来とする「永寿の会」は、「みんなが、やりたいことを、何でもできる場」を作ろうと、今年3月にサロンとして開設されました。現在は、会員会費のほか、大船渡市社会福祉協議会のサロン助成金等を活用し、自主運営しています。7月20日に行われたサロンでは、生きテク体操を実施。4月に竣工された永沢地区公民館を会場に、住民11名が集まりました。椅子に座つてできるストレッチから始まり、体全体で表現するジャンケンやボールを使つた運動で盛り上りました。参加者の齊藤さん（76）は、「家に1人で居るよりも、ここへ来てみんなで体操するほうが楽しい。運動不足が解消され、健康の秘訣になつていて。次の手芸も楽しみ」と話しています。

代表の丹野秀次さんは「8月は小学生の夏休みに合わせて、PTAと協力し、世代間交流ができるイベントを実施する予定。これからも会員の希望を聞きたがら、スポレクやカラオケなど、色々なことをやつていきたい」と今後の意気込みを話してくれました。

## 子育て講習会「ママと赤ちゃんの姿勢講座」

毎日元気で楽しく子育てするために、姿勢についての正しい知識を学びます。

日 時 9月22日(金)午前10時30分～正午

会 場 大船渡市Y・Sセンター

受講料 無料

対 象 妊娠16週以降の方、子育て中の方  
定 員 20名

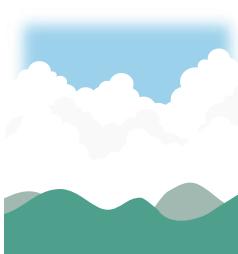
※お子さんといっしょに話を聞くことができます。

### \*寄附・寄贈物品受入報告

7月に、次の方々からご寄附をいただきました。各種事業に活用します。ありがとうございました。

### 復興支援金

いわてゆいっこ花巻様



### 福祉基金

陶芸サークル一点舎様  
七虹会様  
乾水窯様

### \*共同募金情報

7月に、次の方々からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

### 一般募金

2017おおふなとボランティアフェスティバル  
実行委員会様

### 災害たすけあい義援金

(平成29年7月5日からの大雨災害義援金)

新沼貞子様

昭和28年度盛小学校卒業生「喜寿を祝う会」様

(大分県豪雨災害義援金)

昭和28年度盛小学校卒業生「喜寿を祝う会」様  
大船渡中17回生古稀祝実行委員会様

### \*ボランティア情報

#### ボランティア養成講座（手話教室）

点字を体験して、目の不自由な方々への理解を深めることを目的として開催します。

日 時 9月19日、26日、10月3日、10日、

17日(いずれも火曜日)午後7時～9時

会 場 大船渡市総合福祉センター(学習室)

受講料 無料

定 員 15名

「募集」「イベント」「お知らせ」など  
暮らしに役立つ情報を  
お届けします。



お知らせ  
平成29年9月

申込・ 大船渡市社会福祉協議会  
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

### \*支えあいまちづくり事業情報

#### 陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時 間 午前10時～正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内 容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

#### 陽だまりサロン日程(9月)

開催日	会 場
1日(金)	吉浜地区拠点センター
6日(水)	崎浜公民館
12日(火)	碁石コミュニティセンター
13日(水)	鷹生公民館
15日(金)	下中井公民館
20日(水)	崎浜公民館
22日(金)	綾姫ホール
26日(火)	猪川地区公民館



### \*子育て関連情報

#### おでかけひろば 親子でOK

子育て親子の交流の場です。

時 間 午前10時～正午(大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後1時30分～3時30分)

#### おでかけひろば日程(9月)

開催日	会 場
9日(土)	居場所ハウス
12日(火)	大船渡地区公民館
27日(水)	カリタス大船渡 地ノ森いこいの家

## \*生きがい・健康づくり情報

### 陶芸教室受講者募集

創作活動の楽しさを味わいながら、趣味の幅を広げることを目的として、初心者を対象とした陶芸教室を開講します。

**開講日** 9月6日（水）～11月22日（水）  
毎週水曜日 約全12回

**時間** 午後1時30分～4時

**会場** 大船渡市Y・Sセンター

**講師** 菅野真一さん（陶芸サークル「一点舎」）

**受講料** 1,000円（施設利用料と材料費は自己負担）※希望する方には道具セットを斡旋します。

**定員** 15名

**申込み切** 9月1日（金）

## \*大船渡市社会福祉協議会

### 会費納入の御礼

このたび、会費納入のご協力をお願いしたところ、多くの方々にご賛同いただき、貴重な会費を納入していただきました。

ご協力いただきました皆様に心から御礼を申し上げますとともに、お世話いただきました行政連絡員さんをはじめ、各地域公民館の皆様、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

皆様からお寄せいただいた会費は、社協活動の大きな財源として活用させていただきます。ありがとうございました。

今後とも、社会福祉協議会の活動に対し、温かいご支援とご協力をお願ひいたします。

### 今月の表紙

志田 龍士さん  
あゆみさん  
雪音ちゃん(7才)  
涼雅くん(6才)  
楓真くん(2才)  
(盛町在住)

家族全員お祭り好きで毎年七夕に参加しています。

長女の雪音ちゃんは今年から篠笛を吹いているそうです。

涼雅くん、楓真くんも力いっぱい声を出して山車を引っ張っていました。

#### □9月号課題「雑詠」

#### □締め切り

9月5日(火)必着。  
1人1句。  
(自信作をひとつ)  
はがき使用。

#### □投句先

立根町字下欠125-12  
「Y・Sセンター」内  
大船渡市  
社会福祉協議会  
「ふくし川柳」係

#### □その他

作品によっては、添削する場合もあります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

## \*岩手県福祉人材センター情報

### 介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談は、事前予約の方を優先します。

### 介護のしごと相談（9月）

開催日	会場	時間
11日(月)	Y・Sセンター	午前 9時～午後4時
14日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
25日(月)	Y・Sセンター	午前 9時～午後4時
28日(木)	ハローワーク	午前10時～正午

### 申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター・坂本さん

電話 080-8201-0200

## \*大船渡市Y・Sセンター情報

### プール利用の注意

事故防止の観点から小学3年生以下の児童・幼児がプールを利用する場合は保護者の同伴が必要です。ご理解、ご協力お願いします。

### 筋力測定会開催

1分間で筋肉量、体脂肪量、水分量等がわかる筋力測定会を開催します。測定料は無料で、事前の申込は不要です。

**日 時** 9月9日（土）午前10時～正午、  
午後1時～3時

**会 場** 大船渡市Y・Sセンター

### 「ふくし川柳」

課題「夏休み」富谷英雄選

恵まれた自然満喫夏休み  
夏休み登つてみたい雪の山  
送り火を焚いて迎える夏休み  
里帰り母の手にぎる夏休み

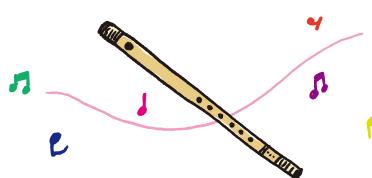
末・滝田 澄子  
大・岩渕 ヨシエ  
大・中村 样子  
日・佐藤アサ子

### 『佳作』

いいやんへ 将棋を挑む 夏休み

立・武田 みづ

中学生棋士・藤井聰太さんの登場により、岩手県内でも子どもたちの間で将棋がブームになつていいという。どの分野でもいわゆる「救世主の出現」が待たれていたところだ。



# 輝き人

た ばた た か  
田 畑 夕 力 さん (71歳)

平成14年に人形劇サークル「おてだま」を結成。市内外の保育園、小学校のほかデイサービスなど、メンバー4人で企画しながら公演している。末崎町在住。



## 人形と一緒に夢と樂しさを届けたい！

### ●仲間との玉ollect

平成14年、学校週5日制のスタートに合わせて、末崎町では土曜日に公民館に子どもたちを集め、昔の遊びや詩吟など高齢者の特技を伝承する活動が始まりました。町内のいろいろな技を持つた方が、子どもたちと一緒に過ごそうと、たくさん集まりました。人形劇の仲間ともそこで出会い、何の遊びをしたら楽しいか時間を忘れて話しあつたことを今でも覚えています。

地域活動が盛んになつてくると学校に協力する機会も多くなり、学校を訪問して読み聞かせなども行うようになりました。小さい子どもにも楽しいお話を伝えようと考えていたときに入形劇に出会い、人形劇サークル「おてだま」を結成しました。

### ●笑顔が元気のわざ

人形劇では、おてだまや指遊びなども取り入れて飽きないよう工夫しています。ときには、子どもたちが怖がる動物の人形も出演し、泣き出す子もいますが、夢のあふれる人形劇を届けるために演出や人形作りに力を入れています。子どもたちが大きな声で笑い、ハラハラドキドキすると、私たちの心も弾み、ワクワクします。子どもたちの輝く瞳を見たい、会いたい、みんなの笑顔が私たちの元気の素になっています。

### ●何歳になつても勉強

小学校や保育園だけでなくデイサービスなどにも訪問しています。お年寄りは、懐かしい歌や地域のお祭りごとが好きなので、人形による踊り、虎舞など

を取り入れながら楽しんでもらっています。毎回同じものを演じるのではなく、観る方の年代や地域に合わせた人形劇を行うために資料を集め勉強し、試行錯誤しながら作っています。

### ●楽しさんどー

人形劇で使う人形は、ほとんどが手づくりで、台本や音響も自分たちで制作しています。大変ですが、辛いと思ったことはありません。メンバー4人で集まることがとにかく楽しいんです。どこまで続けられるかわからいませんが、自分たちの劇を観てくれる方がいる限り、いつまでも続けていきたいと思います。

